

令和4年度重要生態系等自然環境調査

調査受託者：特定非営利活動法人 西条自然学校

目的

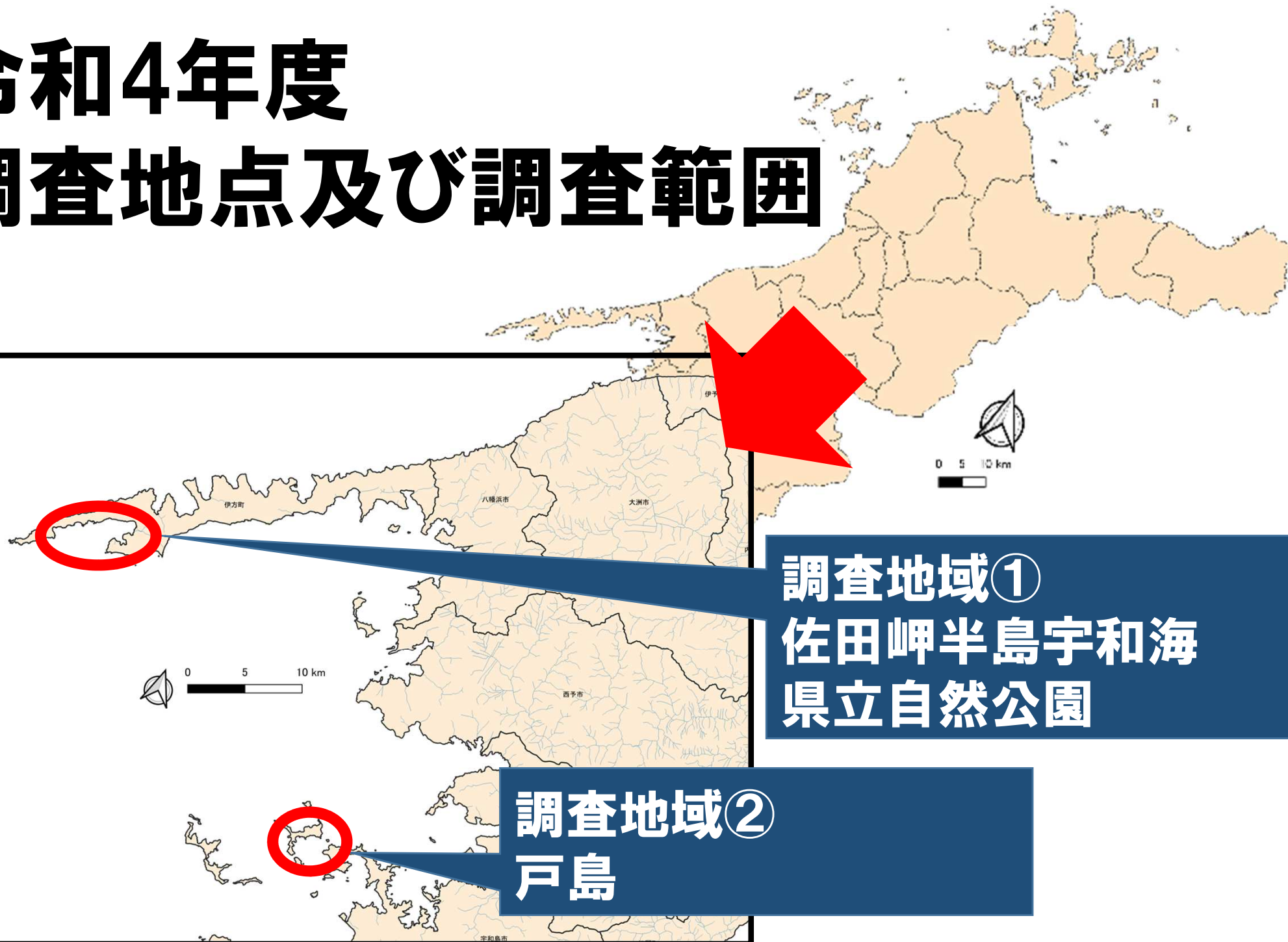
調査内容

調査地域 佐田岬半島宇和海県立自然公園
調査項目と調査方法

調査実施期間

4 5 12 - 5 3 17

令和4年度 調査地点及び調査範囲





令和4年度調査地概観
佐田岬





令和4年度調査地概観 戸島



令和4年度 調査結果概要

哺乳類

15

2

鳥類

55

WJ

昆虫類

40

22

爬虫両棲類

EN

45

NT

高等植物

4

51

13 40

90 356

103 396

(V)

85 375

(EN)

97 400

(V)

EN

12 25

EN

2003

確認された主な特記種①(令和4年度調査)



タワヤモリ (県準絶滅危惧種)

Gekko tawaensis

県内の海岸域の岩場などで確認されている。県内での生息確認地は限られており、絶滅が危惧される。



コキクガシラコウモリ

Rhinolophus cornutus

洞窟に生息。キクガシラコウモリが洞穴の比較的入り口に近い部分を利用するのに対してコキクガシラコウモリは洞穴の深部を利用。

確認された主な特記種②(令和4年度調査)



ミヤコジマツツラフジ (県絶滅危惧 I B類)

Cyclea insularis (Makino) Hatus

本種はツツラフジ科のつる性の木本で、林縁に生育している。県内のものは本種の分布の東限にあたり、植物地理学上重要である。本種は佐田岬と宇和島市において記録されている。日振島での記録があったが、近年御五神島でも確認され、さらに今回の調査では本浦の2か所で本種が確認された。県内での生息確認地は限られており、絶滅が危惧される。



クマノギク (県絶滅危惧 I B類)

Sphagneticola calendulacea (L.) Pruski

本種は、キク科の暖帯や亜熱帯の海岸の湿った所に生える常緑の多年草である。県内の分布は伊方町、宇和島市、愛南町であるが、県内での生息確認地は限られており、絶滅が危惧される。

今後のデータ活用について

県立自然公園自然環境調査

多様な生物が生息する自然公園のうち、特に気候変動の影響が出やすい高標高地や、津波や海面上昇等の影響により消失する可能性がある地域等の動植物の生息状況について集中的に調査を実施し、生物相を明らかにする

重要生態系自然環境基礎調査

宇和海島嶼部の津波や海面上昇等の影響により消失する可能性がある地点を中心とした動物相および植物相の実態調査



気候変動の影響を受けやすい
海岸域等の動物相、植物相のリスト化
改訂される愛媛県レッドリストに反映